

発表用フォーマット

# E-FIELD

Education For Implementing End-of-Life Discussion

発表用フォーマット



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## アイス・ブレイキング

### ★自己紹介（1人45秒）

- 名前
- 勤務先
- 「最期の晩餐」
- それはなぜ？



- ★全員が終わったらグループ全体で最も印象深かった「最期の晩餐」を選ぶ
- ★今日の研修会の役割分担をする



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## アイスブレイキング 司会・書記・発表者を決めてください

セッション	司会	書記	発表者
Step1			
Step 3・4			

書記はキーボード入力が早い、PC操作に慣れている人が望ましいです



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## Step1:本人の意思決定する力を考える

- 4つの要素のそれぞれについて、1) 楠木さんの力を評価し、2) その理由、3) 評価のために必要な情報、4) 力を高めるためにできる支援、を話し合ってください。
- 本人の意思決定する力は以下から選択してください（複数選択可能）
  1. 十分
  2. 情報不足で評価が困難
  3. 意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要
  4. 不十分



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## Step1 本人の意思決定する力を考える「理解」

評価	1:十分である可能性が高いが、 2&3:情報収集や高める支援をして評価の精度を高めることが必要
理由	・病名・病状に言及しておらず、変形性膝関節症という疾患について理解できているかどうかは、この会話のやりとりからは不明である（20年間通院してはいるが） ・痛みに対して、手術か鎮痛薬での対応か2択であること、手術の利益である疼痛が緩和する可能性や負担である合併症、鎮痛薬の他の選択肢に言及しており、医師の説明を理解できている ・一方で「先生は、手術しろって言った」という発言から、部分的に誤解もある
評価のために必要な情報	病名・病状を本人の言葉で話してもらい、理解を確認する（「ご自分の病名や病状をどのように理解しているか、教えていただいてもよろしいですか？」）
「理解」を高めるためにできる支援	部分的な誤解については、一度に情報を口頭で伝えても理解が難しいことが一因ではないかと推測され、複数回説明する、パンフレットを活用するなどの説明の工夫をすることで、より理解が深まる可能性がある



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## Step1 本人の意思決定する力を考える「認識」

評価	(1~4のうちから選択、複数回答可。1:十分,2:情報不足で評価が困難, 3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要, 4:不十分)
理由	
評価のために必要な情報	
「認識」を高めるためにできる支援	



Education For Implementing End-of-Life Discussion

## Step1 本人の意思決定する力を考える「論理的思考」

評価	(1～4のうちから選択、複数回答可。1:十分、2:情報不足で評価が困難、3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要、4:不十分)
理由	
評価のために必要な情報	
「論理的思考」を高めるためにできる支援	



## Step1 本人の意思決定する力を考える「表明」

評価	(1～4のうちから選択、複数回答可。1:十分、2:情報不足で評価が困難、3:意思決定する力を高める支援をして評価をすることが必要、4:不十分)
理由	
評価のために必要な情報	
「表明」を高めるためにできる支援	



## Step2…

- 本人と医療者が相互に何を伝えるべきか、何を知るべきかという観点から、2つの動画でのやり取りの違いについて話し合ってください。



## …Step2

- 2つ目のやりとり（長いビデオの方）について、更に本人の価値観を共有するためには、どのようなコミュニケーションをしたら良いでしょうか？具体的な言葉や質問を書き出して下さい。



## Step 3.4 グループワーク

- 4分割表とワークシートがあります



<b>医学的適応</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 三回目の誤嚥性肺炎、抗生物質治療にても改善せず</li> <li>2 遷延する低栄養状態</li> <li>3 嚥下困難・自力食事摂取不能</li> <li>4 経鼻経腸栄養実施中</li> <li>5 チューブ自己抜去あり身体拘束が必要</li> <li>6 認知機能低下・気力低下・食欲低下</li> <li>7 人工栄養で1年の予後が見込める、人工栄養は永続的となる</li> <li>8 胃ろう造設の選択肢あり</li> </ol>	<b>患者の意向（嗜好）</b>
<b>QOL</b>	<b>周囲の状況</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 家族は楠木さんの状況をよく理解している</li> <li>2 経鼻経腸栄養中止に関して、家族の意見は一致している</li> <li>3 妻は介護に熱心だが介護疲れがある</li> <li>4 家族仲は良好、長男家族も頻回に見舞いをしている</li> <li>5 経済的に大きな問題はない</li> <li>6 家族は「可哀想で見てられない」と感じている</li> <li>7 家族は経腸栄養開始について、本当の気持ちを言えなかった</li> <li>8 妻は夫の楠木さんを自宅で看取りたいと希望している。</li> </ol>



① 楠木さんが大切にしたい  
こと, その根拠となる情報

② ①を尊重するために提供  
できる医療・ケア

③楠木さんの推定意思をより確かなものにするために、  
医療・ケアチームとしてどのような関わりができますか？

